

No	選挙区	国会議員名	Q1 原子力発電はいつまでにゼロにすべきだと思うか					意見Q1	b2「六ヶ所村」「もんじゅ」		意見Q2
			いますぐ	10年度	20年度	30年度	30年以上		ゼロは難	稼働	
1	全国比例	川合孝典			○			代替エネルギーの確保を進めつつ、原発依存度を下げる取組を行い、将来的にゼロを目指す			原子力エネルギー開発における国際連携に基づき、取り組みを進めてきた経緯があるため、欧米各国との調整が
2	全国比例	川田龍平	○							○	
3	全国比例	樽井良和	○							○	
4	全国比例	はたともし	○					高効率火力発電(天然ガスコンバインドサイクル+最新型石灰火力)で、即原発ゼロ、コスト削減。CO2排出削減は可能。さらに、電池3兄弟(太陽電池・燃料電池・蓄電池)の普及促進で2000万KW(原発20基分)のピークカット・省エネルギーとな		○	「原発の再稼働・増設は一切しない」「高速増殖炉・核燃料サイクルは全て廃止にする」は生活の党の参議院選挙公約です。
5	全国比例	山下よしき	○					福島原発の事故の被害と現状をみれば原発即時ゼロの政治決断を行ってただちに廃炉への取り組みを進めるべきです。再稼働・増設などもってのほかです。		○	歴代政府が進めてきた核燃料サイクル計画は完全に破たんしています。「もんじゅ」も完成の見込みもなく再処理はそれ自体極めて危険であるとともにそこから生まれる「高レベル廃棄物」はその処分さえ見直しが終わっていません。海外でも計画を断念しており即時停止すべきです
6	全国比例	相原久美子		○				段階的に廃止すべき。		○	核燃料サイクルは即時停止
7	全国比例	真山勇一		○	○			原発の安全神話は崩れました。米GEのジェフ・イメルトCEOが自ら指摘したようにもはや原発の経済性を正当化することは困難です。電力完全自由化と発送電分離を徹底することによって、原子力発電所は市場淘汰され、2020年代には原発ゼロが実現されます。みんなの党は電力完全自由化・発送電分離を推進する「電力自由化推進法案」を既に国会に提出しており、その早期審議と可決成立へ向けて各党に協力をお願いしています		○	核燃料サイクル計画は経済的合理性を欠いており、即刻中止すべきです。また、経済合理性を欠き、明確な用途も見いだせない再処理施設もコストとリスクを拡大するだけであり、稼働を中止すべきです。使用済み核燃料は、速やかに直接処分すべきです。
8	全国比例	紙 智子	○							○	
9	全国比例	又市征治	○					原発再稼働は一切認めません。大飯原発3,4号炉は即時停止		○	ただちに停止し、使用済み核燃料の処分方法を考えるべき
10	全国比例	藤原よしのぶ		○						○	
11	全国比例	山本博司				○				○	
12	全国比例	有田芳生						原発には反対です。			
13	全国比例	玉置一弥	○					地震が多い為、いろいろな事をして時間無駄だと思う		○	
14	全国比例	谷岡くにこ	○					脱原発を止める(再稼働なし)。やめる(2023年までにすべての原発の完全廃炉に着手)、かたづける(核のゴミ処理を確立)のステップで着実に実行します。		○	
15	全国比例	加藤修一		○				以下は個人としての見解です。原発の発電コストは、発電所の建設費や維持費などを含めた発電コストは、政府のコスト等検証委員会は、原発と火力発電の差はなく、原発が約8.9円に対して、石炭火力は約9.6円、LNG火力も約11.2円、水力は約10.6円である。しかも原発は核燃料サイクルなど原発関係の補助金が含まれていない。これを加算すると明らかに高い。一機5000億円に目がくらんで核拡散の隙をつくる原発輸出は、日本はすべきではない。ある有力なレポートによれば2035年までの火力発電の世界の市場規模は大変大きく、途上国を対象にクレジットの入手など原発の市場よりは、明らかに優位でありこの高効率の火力発電をシステム輸出すつことである。まして今もって福島事故の原因が明確でない。更に核の廃棄物の処理方法が不明確である。また核種変換で半減期を短くするなど、現代の錬金術の議論があるが、理論上あり得てももんじゅがそうであるように現実の制御は極端に困難である。		○	以下は個人としての見解です。①使用済み核燃料は再処理を行わず、直接処分の研究を進め、使用済み燃料の総量管理政策を採用するとともに、使用済み核燃料の保管は湿式から安全性が高いとされる乾式に変更。②高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策は抜本的に見直し、責任ある対処方法を検討し決定する時間を確保するため、回収可能性を備えた形で安全性に配慮しつつ保管する「暫定的保管」を行う。③再処理により既に発生したプルトニウムは東海村の再処理施設でのガラス固化を検討するとともに、所有権移転、国際管理等の方策を追及すること。④再処理施設中止後のA県の振興策については国として責任を持って対処するとともに、同県に既に搬入された使用済み核燃料については国と電力大消費地、原発立地地域を含む全都道府県との協議の場を設置し、解決の道を見出す。など原子力の平和的利用についても国際的な出口を作り上げるべきです。

1	北海道	小川勝也			○			原発は2030年代稼働ゼロをめざして「原発の40年運転制限を徹底する」、「原子力規制委員会の安全確認を得たもののみ、再稼働を可能とする」、「新・増設は行わない」という3原則を徹底します。		○	技術的に破綻しているといわれる燃料サイクル事業については抜本的に見直すべきだと考えています。使用済み核燃料について、減容化、減量化、無害化の研究開発を国際的に進めるとともに直接処分の研究を進めていきます。
2	青森県	平山幸司						可及的速やかに代替エネルギーへの転換をはかる			研究開発を積極推進し、日本の技術力を活かせるようになることが可能であれば考える余地あり
3	岩手県	平野たつお				○		再生可能エネルギーの開発を進め、エネルギー利用効率を高め中長期的には原発ゼロをめざすべき			徹底した安全対策を最優先にするべき
4	秋田県	松浦大悟		○				電力の安定確保や放射性廃棄物の処理などの課題を乗り越え、原発ゼロをできるだけ早期に実現すべき。そのことが秋田の「エネルギー産業革命」に繋がる。風力、地熱、小水力など国内有数の本県潜在力をフル活用すべき。原発推進の安倍政権では自然エネルギー導入への本気が一向に感じられず後退を懸念。		○	
8	福島県	かねこ恵美	○							○	
8	埼玉県	行田邦子	○	○				原発の経済性を正当化することは困難。電力完全自由化と発送電分離を徹底することにより、原発は市場淘汰され、2020年代には原発ゼロが実現できる。みんなの党は、電力完全自由化、発送電分離を推進する「電力自由化推進法案」を既に国会に提出しており、早期審議と可決成立へ向けて各党に協力を求めている。		○	核燃料サイクル計画は経済的合理性を欠いており即刻中止すべき。明確な用途も見いだせない再処理施設も、コストとリスクを拡大するだけであり、稼働を中止すべき。使用済み核燃料は、速やかに直接処分すべき
	茨城	藤田 幸久						2030年代の原発再稼働ゼロを可能にする政策を目指します			両施設の取り扱いについては原子力政策の中で慎重な検討が必要と考えられます。
6	千葉県	長浜ひろゆき						省エネルギー社会、地産池消のエネルギー社会を実現し、地球温暖化対策を進めるためにも、再生可能エネルギー・省エネルギーの技術開発、普及支援へ向けて資源外交や海洋調査など、あらゆる政策資源を投入する。また2030年代に原発稼働ゼロを可能とするよう、地域経済に配慮しつつ責任を持って取り組む。			
7	東京都	大河原雅子	○					原子力発電は「あってはならないもの」だと考えています。		○	核燃料サイクル政策の放棄が必要です。
5	石川県	一川保夫			○			電力システム改革を進め、再生可能エネルギーを軌道に乗せる		○	稼働している期間は、最新の知見を得るためにも研究は必要
9	長野県	羽田雄一郎			○			原発ゼロ社会を目指し、さまざまな課題を乗り越えていく。		○	原発から出る危険なゴミの問題は全く手つかず。先送りせず真正面から取り組むことが政治の責任。
10	三重県	高橋千秋			○					○	
10	大阪府	梅村 聡			○			原子力エネルギーに代わる、エネルギー源の確保、クリーンエネルギーの積極推進、および省エネの推進を前提として、中長期的な明確な行程表を示していく必要がある			どちらでもない。すでに稼働している施設等を単に2択の回答で示すことに無理があると考えます。
11	鳥取県	川上義博	○					40年運転制限を厳格に守る。原発の新設・増設は行わないなど3つの原則で「原発ゼロ社会」を実現するよう政策資源を投入していきたいと思ひます。		○	青森県を放射性廃棄物の最終処分地にはいけません。核燃料サイクル事業に対する国の責任を明らかにし、使用済み核燃料の直接処分の研究を進めます。
12	高知県	広田一			○						核燃料サイクル事業に対する国の責任を明らかにし、本質的なあり方を見直すべき。
13	熊本県	松野信夫			○			2030年代の原発稼働ゼロをめざします		○	
14	沖縄県	糸数慶子	○					原発がなくても電力不足は生じなかった。省エネと再生可能エネルギーこそが、エネルギー政策の根幹になるべき		○	原発を前提とし、危険はプルトニウムの蓄積にもつながる核燃料サイクルは一日も早く中止にすべきです。